

## 対象地

三角東港および周辺地域  
所在地：熊本県宇城市三角町  
(旧宇土郡三角町)



## 概要

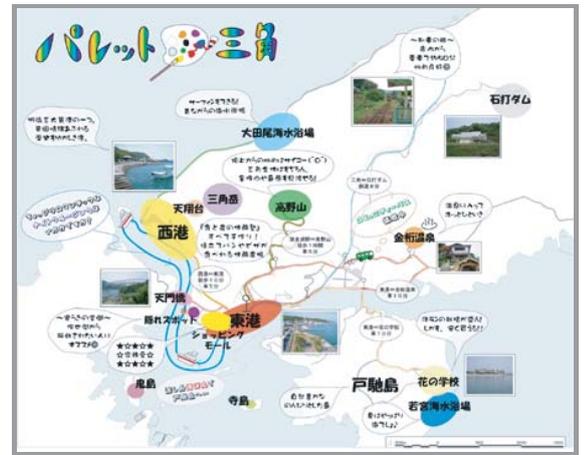
宇土半島の先端に位置する熊本県宇城市三角町は、穏やかな海と緑の山々に囲まれた自然豊かな町です。国道・フェリー・JRが集中し、古くから天草の玄関口として栄えてきました。今回の社会基盤設計演習では、この三角町を対象に、小林・星野研究室と田中研究室の学生14名という例年にない大人数でデザイン提案を行ないました。過去、2003年の社会基盤設計演習においては、当時の受講者7名が三角町の人々に対して「三角西港および周辺地域のマスタープラン」を提案しましたが、それとはまた一味違ったデザイン提案を行ないました。

小林・星野研究室の受講者7名は「三角東港周辺の景観デザイン」を担当し、2チームに別れて提案を行ないました。まず、空間デザイン提案の一つ目は「隠れスポット」チームです。天草1号橋のたもとを「隠れスポット」と命名し、迷い込むかのような錯覚に陥る場所の楽しさ、自然の豊かさなど、場所の特性を活かすような案を提案しました。天草への通過点という課題に対して、三角西港、東港の中間地点に位置し、天草へと渡る一歩手前である、この場所で足を止めてもらうことを狙っています。ポイントとしては、①使われなくなった石油タンクをカフェ、展望所として利用。②船着場の提案などでした。

二つ目は、「三角幸せ家族計画」チームです。対象となる場所は三角東港の西側に広がる埋立地、使われていない倉庫群です。提案では、家族をターゲットに、父、母、子供が一日中楽しめるような空間となるようなデザインを行いました。この案、最大のポイントは①チャイルドパーク。②ショッピングセンター。③ファミリーストリートなどの3つのストリーートの提案でした。

田中研究室の受講者7名は「三角周辺のまちづくりプランニング」を担当しました。上記の二つの空間デザイン提案を含んだ、三角周辺の広域なまちづくり提案として「パレット三角」計画が発表されました。これは、①まず、三角西港や東港、戸馳島や高野山、太田尾海水浴場など個性的ではあるが散漫になりがちな三角のスポットを、パレットに載った絵の具に見立てて、それぞれの場所の彩りを認識する。②それぞれの絵の具を混ぜるために動く絵筆のように、徒歩や自転車、バスや船、自家用車などの移動手段を検討し、周遊コースを提案する。③これらを、あまり三角に来たことのない人々にも効果的に示せるようなサイン計画としてデザイン提案するものでした。

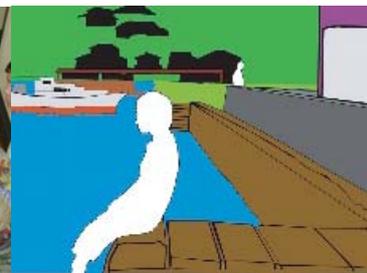
4月から3ヶ月という短い期間でしたが、三角のまちや人々の交流も深まり、今後のまちづくりに繋がる実践的な成果を納めることができた、学生たちは実感を新たにしていたようです。



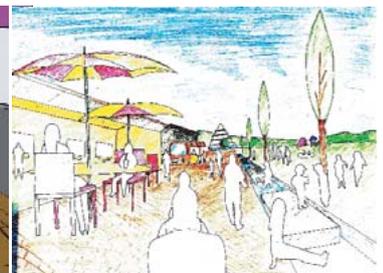
▶学内での検討風景



▶最終WS風景



▶隠れスポット



▶三角幸せ家族計画

## 備考

参加者：男12名・女2名 計14名

URL：<http://www3.eng.kumamoto-u.ac.jp/monokuri/current//ichallenge/ichallenge001/>